

# 教えてドクター

## 肝臓と糖尿病、脂質異常症の関係について

健康診断では肝機能以外に血糖値や脂質も測定することが多いと思います。今回は肝臓と糖尿病、脂質異常症についてのお話です。

糖尿病は膵臓(すいぞう)から放出されるインスリン(血糖値を下げるホルモン)が分泌されなくなったり、効きにくくなったりして血糖値が上がり発症します。糖尿病患者さんは日本に約1000万人おり、年々増加しています。

脂質異常症は悪玉(LDL)コレステロール・中性脂肪高値、善玉(HDL)コレステロール低値をきたす病気です。治療中の患者数は約400万人で、こちらも年々増加しています。

### 肝臓と糖尿病の関係

肝臓は食事から摂取したブドウ糖(グルコース)を貯蔵し、必要な時に放出する働きをしています。血液中の糖分が減ると、蓄えていたグリコーゲンを分解したり、アミノ酸や脂質などさまざまな成分からグルコースを生成し血糖値を上げます。この働きを糖新生といい、血糖値の調整を担っています。肝機能が低下すると、インスリンが効きにくくなったり、糖新生がうまくできずに血糖値が上昇してしまい、糖尿病が悪化します。糖

尿病が悪化することで脂肪肝が悪化することもあります。

### 肝臓と脂質異常症の関係

脂質異常症があると、肝臓に脂肪が蓄積し脂肪肝をきたします。また、脂質異常症は動脈硬化を起こし脳梗塞や心筋梗塞の原因となることもあるため、血液中の脂質を正常範囲に保つことが必要です。

### 糖尿病と脂質異常症のコントロール、定期検査の重要性

近年、増加している代謝機能障害関連脂肪性肝疾患(MASLD)に対する治療薬はありませんが、糖尿病がある方は糖尿病の治療、脂質異常症がある方は脂質異常症の治療を行うことで脂肪肝が改善する可能性があり、食事運動療法、薬物治療を含めたコントロールが重要です。逆に糖尿病脂質異常症がある方は、血液検査や腹部超音波検査などで定期的に肝機能を評価することが重要です。

### DOCTOR

今回の教えてドクターは…

鹿児島大学病院 消化器内科

谷山 央樹 先生



## —『肝炎ウイルス検査や治療費の助成が受けられます』—

### ○肝炎ウイルス検査

これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがない人を対象に、県内の各保健所や保健センター、実施医療機関で原則無料で検査が受けられます。

### ○初回精密検査・定期検査

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された場合に初回精密検査費用や、慢性肝炎・肝硬変・肝がん患者の定期検査費用を助成します。

### ○肝炎治療費助成制度

B型・C型肝炎ウイルス性肝炎の治療で、保険適用となる場合に治療費の一部を助成します(県審査会の認定が必要)。詳しくは最寄りの保健所等へご相談ください。

※助成制度や実施医療機関の詳細は、  
県HPまたは肝疾患相談センター  
HPをご参照ください  
鹿児島大学病院肝疾患相談センター→

